

第1期 地域福祉計画の評価

1. 計画の評価

(評価ポイント)

①計画づくりに市民が参加した（お茶の間トーク）

H17（4地区：9回：延べ504名参加）

H18（12地区：20回：延べ953名参加）

H19（15地区：28回：延べ1,257名参加）

②基本的にお茶の間トーク（地域住民）やふれあいトーク（サービス事業者）からの意見から、政策体系を構成している。

③地区ごとに計画を策定し、地域に、主体的に取り組んだ「経験」が蓄積された。

2. 活動実績の評価

(評価のポイント)

○体系上の位置付けは別として、実態的活動が行われ、一定の基盤整備と、社会福祉協議会の認知は進んだ。

（福祉サポーターの新聞報道、地域福祉の手引の作成配布、救急医療キットの集約等）

○HP作成、社協だより、福推協だよりの充実等、情報開示、情報伝達の基盤整備は進捗した。